

子ども議会 一般質問 ここがききたい！

問 私に通う学校のすぐ近くに「愛知川東小学校前」という信号があります。南北の交通量が多いため、東西の信号は、感應式・押しボタン式になっています。この押しボタンを押した後の青信号の時間が短く感じますし、周りでもそのように話す人はとても多いです。

答 (建設・下水道課課長補佐) 信号機の設置や管理は、県公安委員会が、運用は東近江警察署がしています。信号機の目的は、歩行者や自転車が安全に横断歩道を渡ることや、交通事故の防止、車の流れをスムーズに誘導することです。車の停止回数減らし、排気ガスや騒音などの交通公害、二酸化炭素の排出量を減少させるねらいもあります。信号の表示時間は、サイクル(信号の色が一巡する時間)、ス

プリット(1サイクルの時間のうち、一方方向に割り当てられる信号時間の配分)、オフセット(隣接する交差点間の青信号が始まる時間にずれを持たせること)で決まっております。この三大要素をうまく組み合わせることで、交通事故の防止とスムーズな走行を確保することとなりますが、誰もが満足できるタイミングを作り出すことは容易ではありません。町としては、登下校時のみ横断可能時間を延ばすだけでなく、安全安心に通学いただけるよう道路の安全対策にしっかりと取り組んでまいります。

信号機の横断可能時間の延長について



岡村 否 議員 (愛知川東小学校) とても緊張しました。本番は、有村町長さんもいて、緊張しました。こんな経験は、二度とできないと思うので、やってよかったなと思いました。ありがとうございました。

中嶋 志歩 議員 (愛知川東小学校) 議会が始まる前、今まで感じたことのない空気にきんちょうしましたが、自分の意見を伝えることが出来ました。質問に丁寧に答えていただけて嬉しかったです。良い経験をする事ができました。



子ども議会 一般質問 ここがききたい！



古株 楓 議員 (愛知川小学校) 子ども議会をとおして思ったことは、初めての子ども議会で緊張したけれど、しっかり自分達の意見を言えてうれしかったです。貴重な体験ができて、本当によかったなと思いました。

山下 凜奈 議員 (愛知川小学校) 子ども議会に参加したことで、愛荘町がかかえる問題について考えることができました。これからは、愛荘町がかかえる問題について改善策を考え、実践していきたいです。

問 愛荘町を美しい町、過ごしやすい町にするために、「ポイ捨て0の町」を目指す取組について提案します。愛知川小学校でも、校内や運動場にゴミがあり問題になっていました。校長先生の呼びかけや掃除道具を充実させたことで、休み時間に進んでゴミ拾いに取り組んだり、登校中にゴミを拾ったりするなど、ゴミに対する意識に変化が生まれました。ゴミに対する意識を変化させるためには、工夫も必要だと考えています。神戸市に設置されているような音が出るゴミ箱など、自然とゴミを捨てなくなるようなゴミ箱を設置したり、ゴミ箱をめぐるウォークラリーを開催したりしてみてもどうでしょうか。工夫されたゴミ箱を設置したり、イベント開催したりすることで、ポイ捨て防止の啓発につながると考えます。

答 (くらし安全環境課課長補佐) 愛荘町では、自治会などに設置のごみステーションに持ち込まれた燃やすごみなど8種類の家庭用ごみを収集し、資源ごみ等の回収を年4回実施しています。その他、自治会の協力を得て、粗大ごみの収集や県下一斉の環境美化運動を実施しています。また、不法投棄を防止するため、監視や啓発活動を行なっています。議員提案の「ポイ捨て0(ゼロ)の町」を目指す取組については、ポイ捨てが減るなどの効果が得られると思います。が、ごみの再資源化や、燃やすごみと燃やさないごみの分別に時間がかかることから、ごみの持ち帰りやマイボトルの持参など、ごみを出さない工夫と実践が大切だと考えています。学校や登下校時のごみ拾いの取組を、他の小学校などに広め、環境にやさしい、きれいで住みよいまちを、共につくっていきましょう。

問 現在、愛荘町では15歳まで医療費が免除となっています。そのおかげで、けがや病気のときにお金のことを気にせず、診察を受けたり薬をもらったりすることができています。しかし、テレビのニュースなどで18歳まで医療費が免除されているところもあると知り、私が住む愛荘町でも、年齢の引き上げが実現されるといいなと思うようになりました。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にかかる可能性はまだあります。また、運動部の部活動を行っている高校生は、けがの可能性も上がります。私たちの親が安心して子育てできる愛荘町にするため、医療費免除の年齢を18歳まで引き上げてほしいと考えますが、可能でしょうか。

答 (町長) 子育て医療費助成の対象年齢引き上げについては、滋賀県が高校生世代の医療費を助成する制度を令和6年度から始めることから、町においても今年4月から助成の対象を高校生世代まで引き上げます。愛荘町では、「未来を拓く愛荘16年教育」を掲げ、お母さんのお腹の中で命を受けた赤ちゃんの時から、中学校を卒業するまでの16年間で「人生の基礎を確立する16年」ととらえ、心も体も健やかに成長できるように、「子育て」「保育」「教育」に全町あげて取り組んでいます。愛荘町の未来を担ってくださる子どもたちの「学び」や「育ち」を、これからもしっかりと応援していきます。



北川 咲李 議員 (愛知川東小学校) 私が思っていたよりもはるかに議場が大きくてすごいと思いました。私達の意見がもともと話し合われていたらしく、4月から医療費無償になりとてもうれしかったです。こんな機会をもらえてとても感謝しています。

北村 鈴安 議員 (愛知川東小学校) 議場に入った時は、とても人が多くて緊張しました。自分の言ったことが実現するかもしれないと思うと、ちょっと楽しい気持ちになりました。入れる機会もめったにないので嬉しかったです。ありがとうございました。